

図書館コンシェルジュ

2019（令和元）年度
活動報告書

2020 年 3 月

島根大学附属図書館

図書館コンシェルジュ 2019（平成 31／令和元）年度活動状況報告

1 目的

この取組は、学生の図書館利用を学生自身が支援することにより、図書館を学生が学びあう場にするとともに、学生が学生を支援することや図書館の業務の一部を担うことを通してキャリア形成支援の場とするものである。この活動により、図書館利用を活性化させ、学生の学術情報を使う力、いわゆる学術情報リテラシーの育成を支援するとともに、サポートする側に立つ学生のキャリア形成の支援を目的とする。

2 図書館コンシェルジュの活動内容

(1) 正課外での図書館利用サポート

- サービスカウンター（授業時間割に対応した 1 日 3～4 コマに 1 名が担当）
- 図書館ツアー（外部からの図書館見学时など随時）

⇐ 正課 PSP による予算支援

(2) 図書館サービス改善のための自主企画活動

- コンシェルジュの発案による様々な企画の実施

eg. （広報チーム）広報誌 LiMe 編集・発行 他

（展示・グッズチーム）ブックコンパス、館内装飾、ブックカバー制作 他

（イベントチーム）オープンキャンパス企画、ラーコモカフェ、Twitter 他

（チーム横断企画）松江市立図書館からの団体貸出 他

(3) イベントの運営／外部イベントへの参加（学生協働交流シンポジウム／しまね大交流会）

3 学年・所属

学年別内訳

学年	人数
1 年生	7
2 年生	5
3 年生	10
4 年生	3
修士 1 年生	2
合計	27

所属別内訳

所属	人数
法文学部	14
生物資源科学部	7
教育学部	1
総合理工学部	4
人間科学部	1
合計	27

4 図書館利用サポートの実施状況

(1) 活動時間割

授業時間帯	活動時間帯	月	火	水	木	金
1・2 限	8:30-10:10	8:30-10:10	-	-	-	-
3・4 限	10:25-12:05	10:25-12:05	△	△	△	△
昼休み	12:05-13:00	12:05-13:00	○	○	○	○
5・6 限	13:00-14:40	13:00-14:40	○	○	○	○
7・8 限	14:55-16:35	14:55-16:35	○	○	○	○
9・10 限	16:15-18:30	16:35-18:30	-	-	-	-

※1. ○、△のついている 1 コマに原則として 1 名配置。

※2. △は、前期（4～7 月）のみ実施

(2) 利用統計

○2019 年度図書館利用サポート集計 (資料1)

5 2019 年度予算執行状況

○2019 年度予算執行状況 (資料2)

6 2019 年度活動における特筆事項

9 月 5 日・6 日の両日に、島根大学を会場にして第 9 回大学図書館学生協働シンポジウムを開催し、島根大学図書館コンシェルジュと島根県立大学松江キャンパス学生図書委員会が共同でシンポジウムの運営を行った。また、松江市立図書館団体貸出の実施回数やラーコモカフェの開催回数が前年度よりも多くなり、放送サークルとの共同企画の朗読会の開催など、学内外の他団体・他機関と関わって活動する機会が目立った。

4 月	2	第 2 回「クロスワードパズル」開始
	8	前期利用サポート開始 (継続者のみ)
	10	コンシェルジュミーティング
	11	松江市立図書館団体貸出「新生活応援！」展示・貸出開始
	17	コンシェルジュミーティング (新規参加希望者見学)、春装飾開始、読書の木 (春 ver.) 展示開始、前期ただ日開始 (～7/17)、第 11 回ラーコモカフェ「図書館コンシェルジュって知ってる? ～図書館コンシェルジュの話を聞いてみよう!～」開催
	24	コンシェルジュミーティング、ブックカバー (春) 設置、ランチミーティング開始 (～7/17)
	27	ABD (何者) 開催
5 月	8	定例ミーティング (オリエンテーション)、ブックコンパス「コンシェルジュが選ぶ本」展示開始
	15	コンシェルジュミーティング
	22	コンシェルジュミーティング
	29	コンシェルジュミーティング、七夕装飾開始、読書の木 (夏 ver.) 展示開始
	31	広報誌 LiMe (2019 年春号) 発行・配布
6 月	5	定例ミーティング
	9	朗読会開催 (島根大学放送サークルとの共同企画)
	12	コンシェルジュミーティング
	17	松江市立図書館団体貸出「小説」展示・貸出開始
	19	コンシェルジュミーティング
	24-7/3	職員によるレファレンス研修 (レベルⅡ)
	26	コンシェルジュミーティング、ブックカバー (夏) 設置
	29	ABD (LIFE SHIFT) 開催
7 月	3	コンシェルジュミーティング
	6	第 9 回大学図書館学生協働シンポジウムリハーサル開催
	10	コンシェルジュミーティング、ブックコンパス「動物」展示開始、第 12 回ラーコモカフェ「自分の推しの本 (作家) について語る会」開催
	17	コンシェルジュミーティング、広報誌 LiME (2019 年夏秋号) 発行・配布
	30	前期活動報告会、夏装飾開始
8 月	1-2	オープンキャンパス企画 (スタンプラリー／相談コーナー)
	9	松江市立図書館団体貸出「自分磨きの本」展示・貸出開始

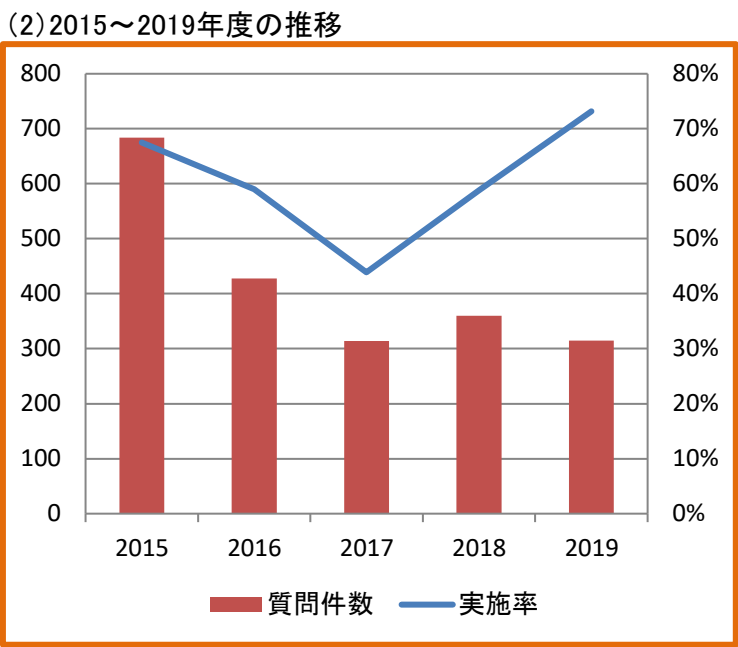
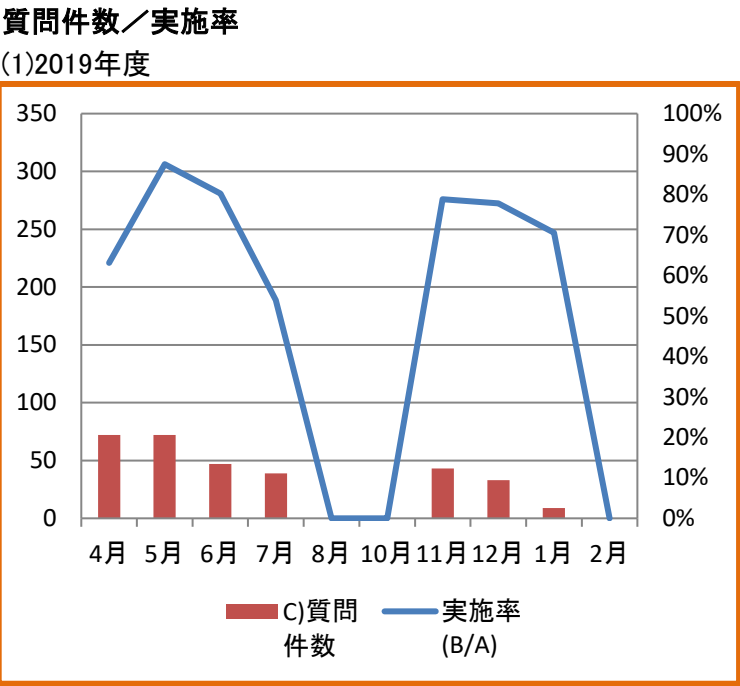
9 月	5-6	第 9 回大学図書館学生協働交流シンポジウム開催（会場：島根大学）
10 月	2	コンシェルジュミーティング、ハロウィン装飾開始、ブックカバー（ハロウィン）設置、 コンシェルジュイベントポイントカード制導入 、ただ日
	5	ABD（10 年後の仕事図鑑）開催
	9	コンシェルジュミーティング、ハロウィン装飾開始、後期ただ日開始（～1/15）、松江市立図書館へブックカバー提供
	11	松江市立図書館団体貸出「うれしい かなしい」展示・貸出開始
	15-21	学生リーダーによる利用サポート研修
	16	コンシェルジュミーティング、読書の木（秋 ver.）展示開始、第 13 回ラーコモカフェ「TED×ShimaneU のお話し」開催
	20	全国大学ビブリオバトル 2019 地区予選開催（会場：島根県立大学）
	23	定例ミーティング
	24-28	職員によるレファレンス研修（レベル I）
	30	コンシェルジュミーティング、第 2 回学生リーダーによる利用サポート研修、ブックコンパス『ミステリー』と『SDGs』展示開始、ブックカバー（秋）設置
11 月	1	後期利用サポート開始
	6	コンシェルジュミーティング
	13	コンシェルジュミーティング、冬装飾開始
	16	しまね大交流会出展
	20	コンシェルジュミーティング
	27	定例ミーティング、第 14 回ラーコモカフェ「ミステリーを読もうー海外・日本の名作ミステリーを実際に読んでみるー」開催
	30	ABD（希望のつくり方）開催
12 月	4	コンシェルジュミーティング、2019 年度企画の棚卸開始（～1/15）、読書の木（冬 ver.）展示開始
	11	コンシェルジュミーティング、ブックカバー（冬）設置
	13	広報誌 LiMe（2019-2020 冬号）発行・配布、松江市立図書館団体貸出「イベントで紹介された本・冬っぽい本」展示・貸出開始
	14	高校ビブリオバトル島根県大会の運営
	18	コンシェルジュミーティング、第 15 回ラーコモカフェ「大学生を中心としたすべての世代、世界を照らす SDGs」開催
1 月	15	コンシェルジュミーティング、第 16 回ラーコモカフェ「学生 EMS 大会議一話そう！大学の環境問題！ー」開催
2 月	3	最終活動報告会

※2019 年 3 月から 2019 年度図書館コンシェルジュ募集開始。

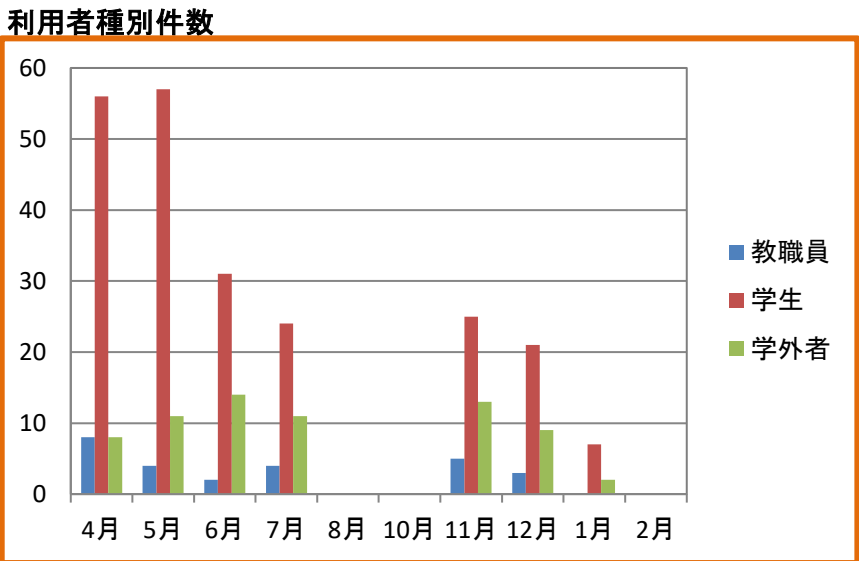
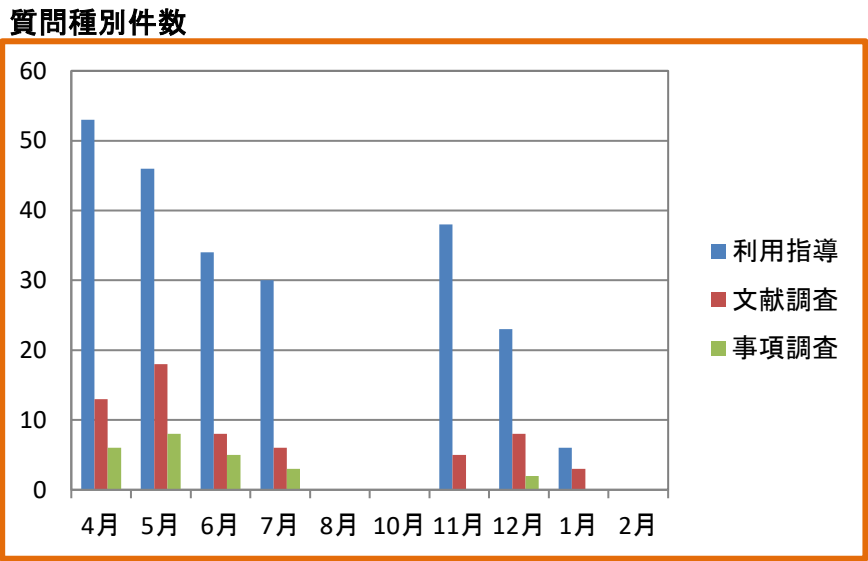
※赤字で示したものは、2010 年からのコンシェルジュ活動の中で、2019 年度に初めて行った取り組み。

2019年度図書館利用サポート統計

年間集計						
月	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)
4月	15	57	36	63.2%	72	2.0
5月	19	72	63	87.5%	72	1.1
6月	20	76	61	80.3%	47	0.8
7月	20	76	41	53.9%	39	1.0
8月	0	0	0	0.0%	0	0.0
10月	0	0	0	0.0%	0	0.0
11月	20	52	41	78.8%	43	1.0
12月	17	45	35	77.8%	33	0.9
1月	7	17	12	70.6%	9	0.8
2月	0	0	0	0.0%	0	0.0
合計	118	395	289	73.2%	315	1.1



A)活動可能コマ数は、シフトの登録があるか否かに関わらず、希望すれば利用サポートに従事することができたコマ。
※前期の利用サポート開始日は4月8日、終了日は7月29日。後期の利用サポート開始日は11月1日、終了日は1月15日。



- * 利用指導

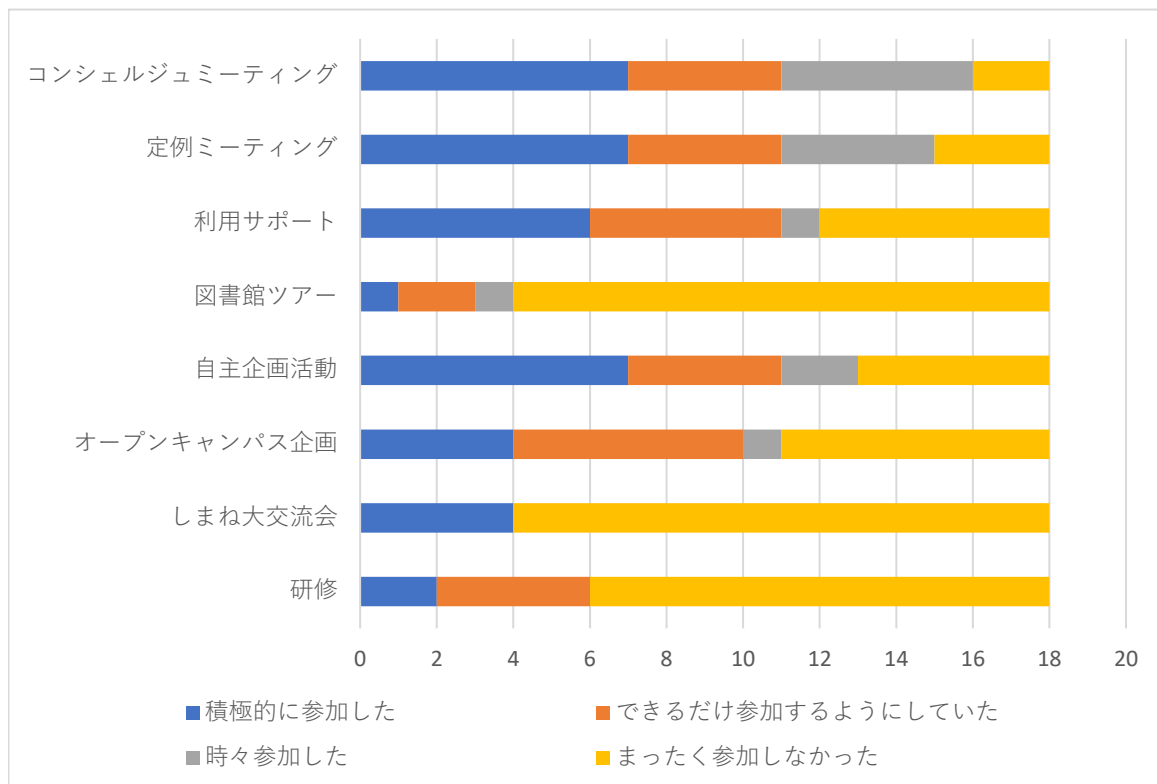
図書館の各種利用方法等の指導
(例) ・書庫の利用の仕方は？ ・工学分野の図書はどこにあるか？
・自動貸出装置の使い方が分 ・OPAC、データベースの検索の仕方が分からない
- * 文献調査

文献の所蔵・所在等についての調査
(例) ・この図書は図書館にあります ・〇〇という論文を探している
・〇〇についての文献(図書・論文)を探している
- * 事項調査

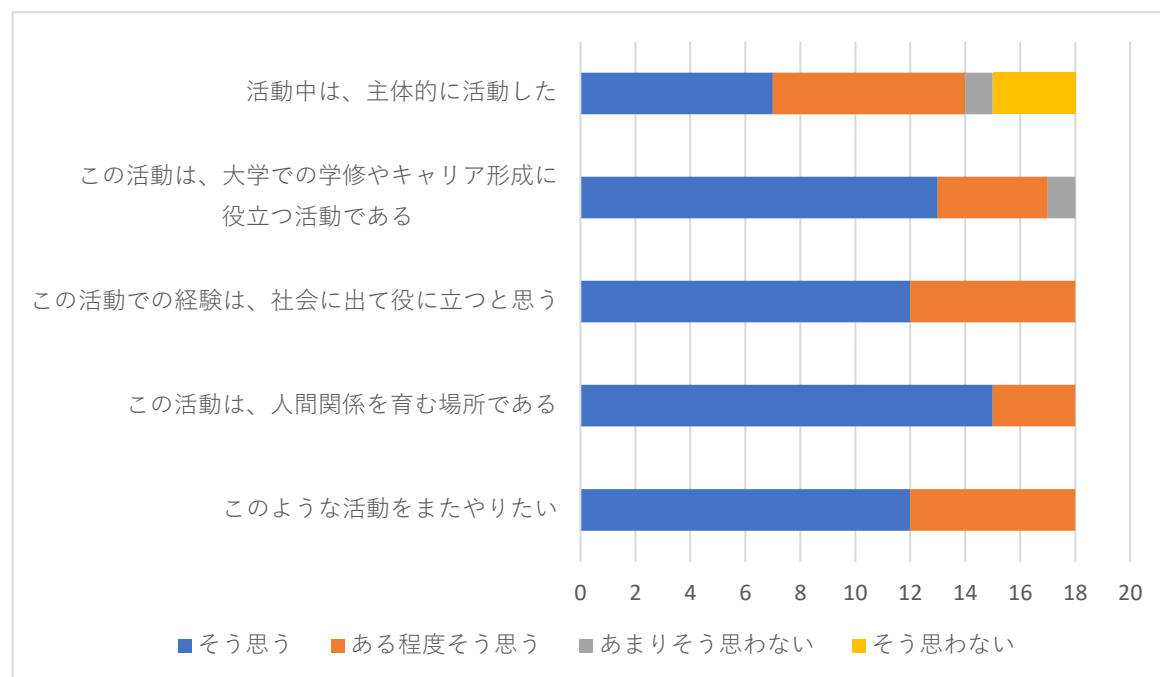
事実や事柄についての調査
(例) ・〇〇について知りたい

図書館コンシェルジュ 活動状況に関するアンケート調査（2019年度）

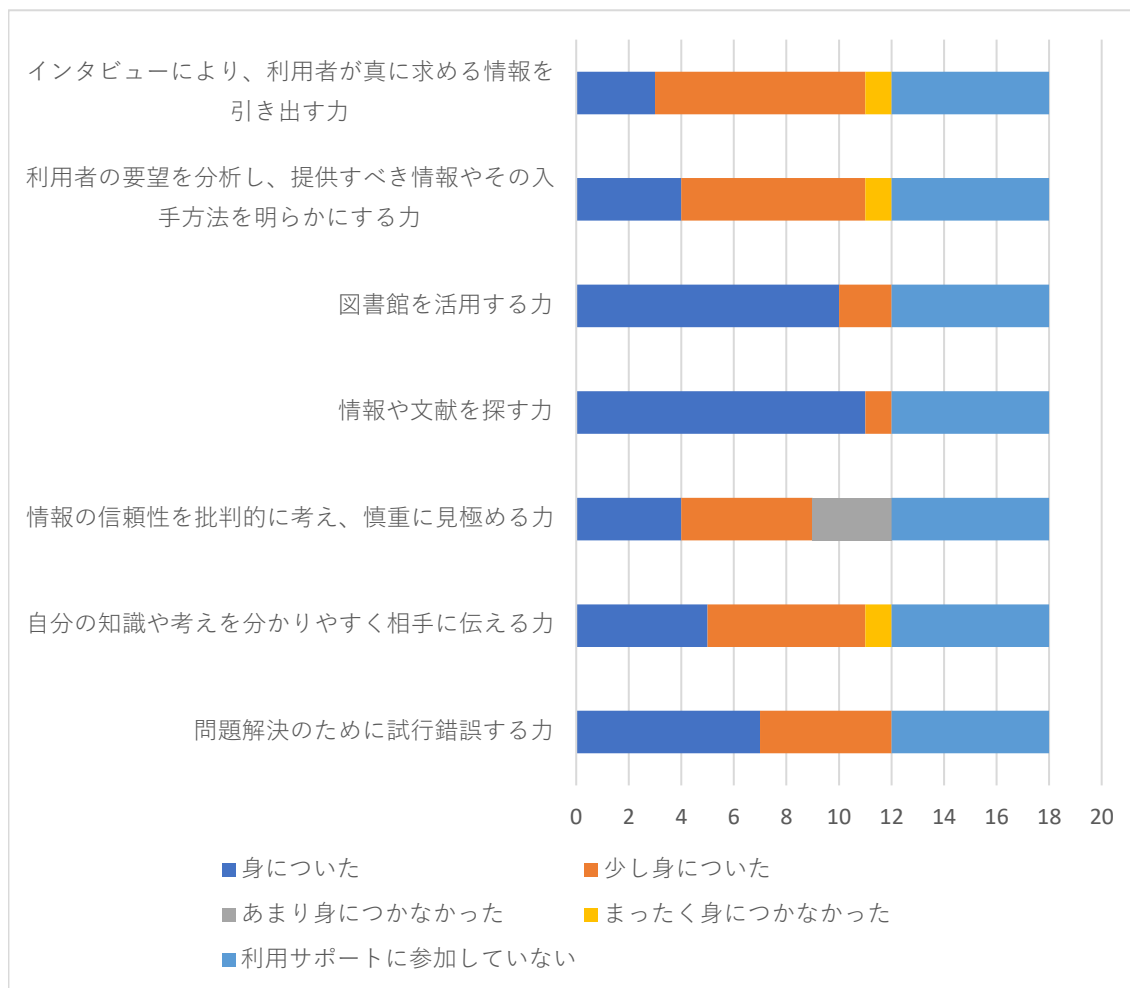
1 あなたは、以下のコンシェルジュ活動について、どの程度関わりましたか。



2 あなたは、この1年間に図書館コンシェルジュの活動を行った経験の中で、以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。



3 利用サポート活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



4 利用サポート活動全般についての課題・問題点をお書きください

職員さんレベルのことを聞かれてそれに迅速に応えること

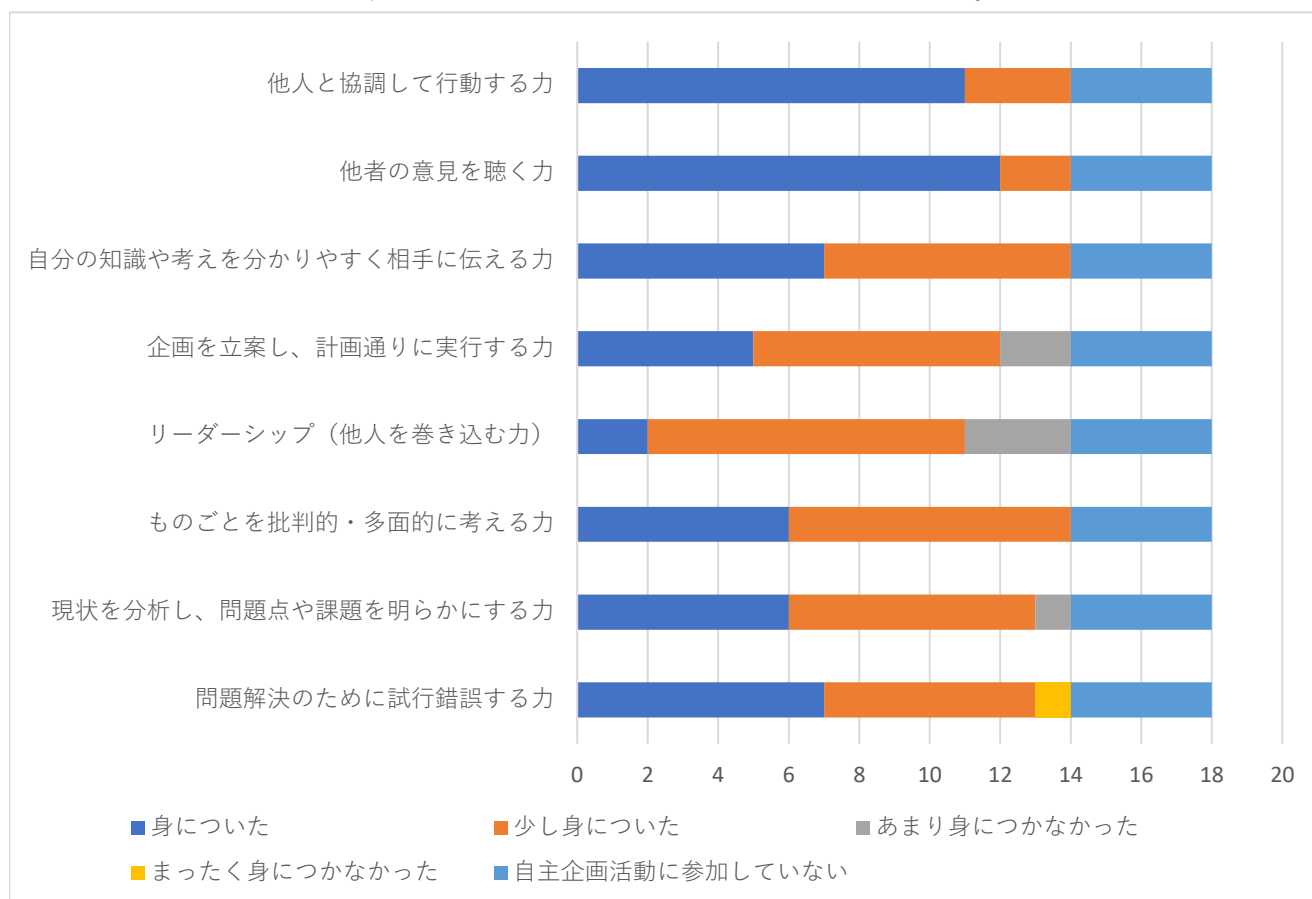
継続的な研修があるとよいと思う。

全体的に笑顔が少ない(表情が硬い)人が多いので、カウンターに座っているときには自分がどう見られているかを意識するよう互いに声かけが必要。

カウンター内のどこに何があるかきちんと把握できていない人が意外と多いのではないかと思う。改めてみんなで見直しをすべき。

○来年度は現3回生の方が就活や卒論などに入るため、利用サポートに入れる人数が激減すると思われる。また、現2回生も研究室活動などが入るため、より一層人員が減るのは目に見えるので、今後どうするのかを検討すべき。

5 自主企画活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



6 あなたが中心となって企画した自主企画活動についてお尋ねします。

企画名	その企画を行ったことで、図書館の利用者やコンシェルジュの活動に対してどのような効果があったと考えられますか	企画を通して学んだ点・成長したと思う点をお書きください
コンシェルジュ Twitter	コンシェルジュの情報の広報や本の紹介を通じた情報の提供ができた	相手に記事を依頼し期日までに投稿するため、スケジュール管理には厳格になったと思う。
ただ日	○国際交流の場の提供 ○留学生に日本語の勉強(実践)の場の提供 ○英語の練習の場(日本語が話せない留学生への対応)	○参加者を安定して多く呼ぶは大変なんだなと ○標準語が少しは身に付いた
館内装飾	飾りつけをすることで図書館へ入りやすい雰囲気づくりができたと考えられる	計画を立てて作業を分けて人に割り振ることを学んだ

ラーコモカフェ	図書館利用者に授業とは違った形で先生と交流ができた。	
	○図書館利用者にいろいろな情報提供の場、人間関係の場を作った。	○後輩への指導は大変なんだと痛感した。それを一番感じたのはラーコモカフェだった。「去年自分はこれぐらいは出来たからこの子にも出来るだろう」と思っていたら、出来ていない所が多々あり、どうすればより分かりやすく相手に伝わるのかを考えるようになった。 ○どうすればより多くの参加者にお越し頂けるかを考えるようになった。 ○ゲストスピーカーの方に対して、メールをお送りするので、目上の方に対する敬語の使い方や、メールの送り方は学べたと思う。
ブック☆コンパス	補助という形でこの企画に携わりました。 利用者の方が普段読ま本のジャンルに興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。	自分にできることは何かを考え、主体的に活動することが以前よりできたのではないかと思います。
	コンシェルジュがお勧めする本を利用者に知ってもらい、読んでもらう場を作ることができたと思う。	準備の際、コンシェルジュのメンバーに手伝ってもらうことが多かったので、リーダーシップ性を育むことができたと思う。
	利用者に本を手にとってもらう機会が増えた。また、利用者がブック☆コンパスを利用している場面を見ることができ、企画の重要性を認識できた。	陳列の仕方、POPの作り方
ブックカバー	図書館の宣伝として利用者の方に手に取ってもらえたり、ブックカバーのデザイン案をコンシェルジュに募ったりなどの活動ができていた。	その季節にふさわしいデザインはどんなものか、またいろんな人に手に取ってもらえるデザインを自主的に考え、学ぶことが出来た。

読書の木	利用者同士が気軽に交流できる場を提供できたことが一番大きい効果だと思う。 コンシェルジュ企画の中でも引き継ぎやアレンジがしやすい企画だと思うので、これから先どのようにこの企画を動かしていくかは臨機応変な対応ができるのも良い点だと思う。	利用者からの要望にあっているのか、自身がやりたいことなのかを天秤にかける難しさを感じるが、その双方について視点を持てるようになったのは成長だと思う。引き続き、バランスの取れた企画をしていけるように調節しながら頑張りたい。
季刊誌LiMe作成	図書館コンシェルジュの活動や本の紹介を行ったことで、図書館及び図書館コンシェルジュの活動の周知をすることができた。	記事を作成するにあたり、文章をまとめることや見やすくデザインする力が身についたと思う。
	図書館で行なっているイベントなどを周知することができたのだと思います。	パワーポイントの扱いが上手くなった。
松江市立図書館団体貸出	大学図書館では読めないような本を読んでもらえることができた。	担当者と協力して行うので、役割分担の大切さを学んだ。
	○大学図書館内にはあまり蔵書されてない本の分野を展示することで、利用推進、読書推進に繋がった。 ○松江市立図書館内に松江市立図書館用のオリジナルブックカバーを配布しだしたことで、より一層地域連携ができ、コンシェルジュなりの社会貢献ができたのではないのかなと。	○利用者のニーズが何なのかを考えること。 ○ポスターのデザイン力(パワポの使い方)
オープンキャンパス	○高校生や保護者の方に、島根大学としてや図書館コンシェルジュについて知って頂けたこと	○リーダーシップ力

ABD	様々な年齢層の人同士が関わりあって、1つのテーマについて話し合う機会を設けることができ、参加者の方々の物事の捉え方や考え方を広げることが出来たと思う。	司会進行役をやったことで場を仕切る練習ができ、より人前で話すことに自信がついた。また、ABDを楽しんでもらうため、どうすれば聴衆を楽しませるような喋りができるかを考えるきっかけにもなった。
	○普段時間が無くて本を読めない方や、読書に馴染みのない方に、読書をする場を提供した。 ○人間関係の形成の場の提供。 ○傾聴や要約力、プレゼン力など、社会に出てから必要となる能力の形成の場の提供。 ○国立国会図書館様に記事が掲載されたので、それにより、色々な所(アクティブ・ブック・ダイアログ??、山陰中央新報)にも掲載されたりと、より多くの方へと、コンシェルジュやABDについて知って頂く機会となった。	○人集めの大変さ ○文章力(国立国会図書館様に記事を執筆した際) ○参加者が今どんな状況なのかを客観視して適切な行動をとる力 ○人前に立つときに前はど緊張していたのが、少しはほぐれたこと

7 自主企画活動全般についての課題・問題点、その他気づいた点や感想をお書きください。

学生だけでなく一般の方、職員さんにもお越しいただきたい。
安定した人数の確保。
飲み物が出るわけでないで「カフェ」でなく違った名前にしたい。(それか実際にお茶を出すか・・・。)
企画書の作成をもっと早くする。ポスターも同じ。
メールの文書に気をつける。
車椅子の方も来られるかもしれないのでそのための席を毎回作るか。
会場設置を早めにする。

引き継ぎ書を作ったことや、企画の棚卸しをミーティング時に行えたことは大きな成果だと思う。
企画の棚卸しに関しては半期に一度行えるとベストかなとも思う。

記事作りの文章はまだできたが、デザインなどは苦手だったため苦労した。しかし、苦手なことであってもやってみることで楽しさを感じたり、苦手意識が少しは減ったように思った。だが、3年生となり、公務員講座や日々の授業などとの両立が難しかった。

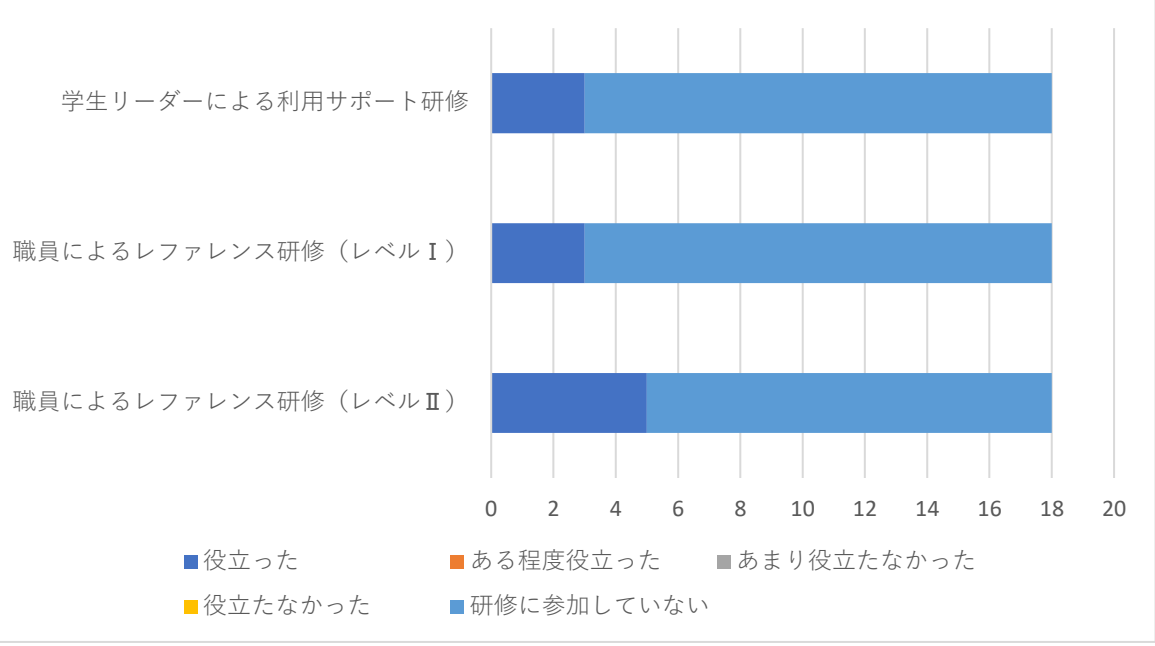
後期は僕を含め、広報チームの多くの人が活動に参加できなかったため、まともに動くことが出来ず、結果としてチームが解散してしまったのは残念でした。

普段の大学生活ではすることのできない経験をさせてもらえました。

○今年度、私自身負担が大きいと常々感じていて、前期は誰にも頼れなかったが、後期になるとチーム内の1年生の子達皆が色々手伝ってくれて本当に助かった。なので、まずは誰か一人に負担が行き渡らないような仕組みにすると、せっかくチームという枠組みがあるので、チーム内で連携できる所は連携したり助け合うのが重要だなと感じました。

○ミーティングや企画に参加出来ない方がいるので、その方がどんな風に企画に携わって貰うのかは、毎年であるが、課題であると思う。今年度チームリーダーを経験して、去年よりも一層そう思ったし、苦労をした。

8 あなたが参加した研修について役に立ったかどうか、4段階で評価してください。

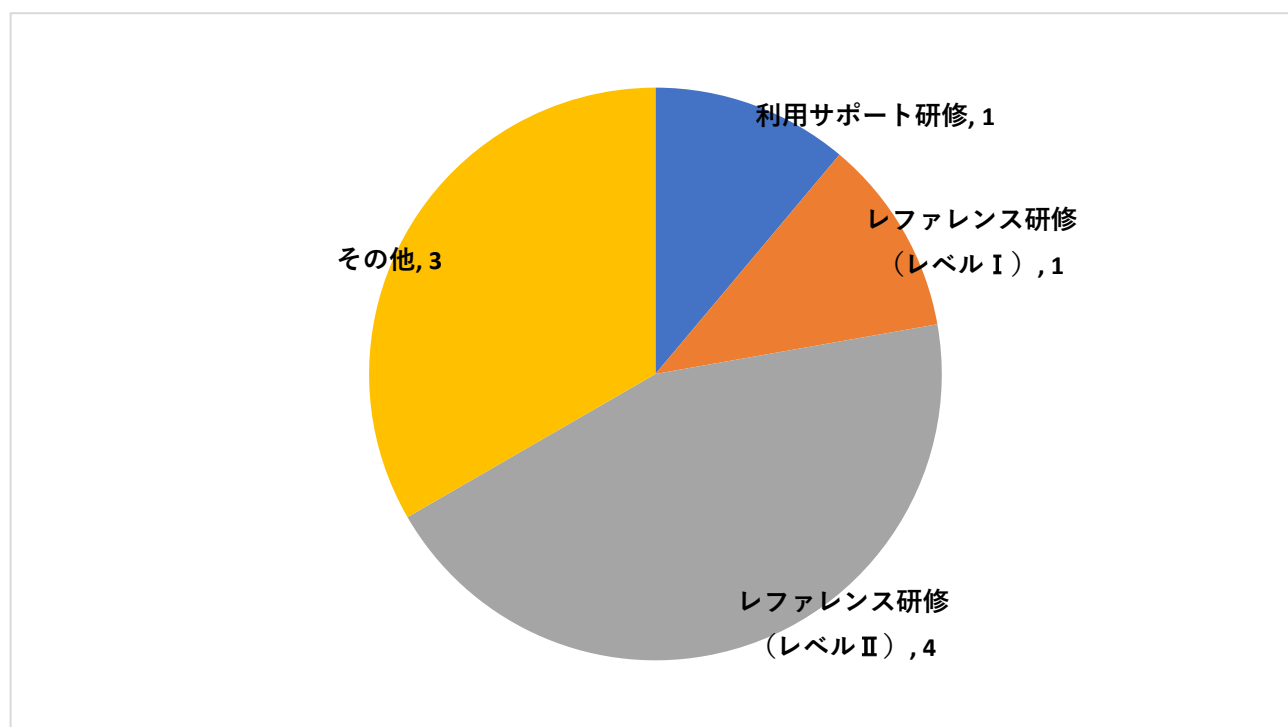


9 あなたが受けた研修についてお尋ねします。

9-1. 研修でどのようなことが身に付きましたか。
利用者からの依頼に対して早く対応できるようになった
OPACのシステムを使って、本だけでなく論文の検索の仕方を実践を以て知ることができた。また、利用者の方にわかりやすく説明するにはどうしたら良いかを考え、実践したため、実際の対応でも上手くすることができた。
図書や文献の的確な検索方法、わかりやすく相手に情報を伝える力など
システムの利用方法、図書館に関する知識

論文の入手方法
各種検索、データベースの使い分けが身についた
9-2. 研修の成果をコンシェルジュの活動にどのように生かしていますか。
他メンバーと協調できるように工夫して生かしている。
利用者にとって利用しやすい図書館について考える際の参考とする。
利用サポート活動での文献探しに生かしている
9-3. 研修の成果を大学の授業や正課外の活動にどのように生かしていますか。
授業で文献や論文を使うことが多いため、研修で得たスキルを駆使して、自分の欲しい資料を見つけることができるようになった。また、OPACのシステム(取り寄せや貸借など)を利用し、欲しい資料を手に入れることができるようになった。
授業で使う資料を探す時に、利用サポートの時のように自分が求めている資料を探せるようになった。
文献のスムーズな検索
卒論などにいかしていきたい。
自分が論文などを探す際に役立っている

10 来年度も開催されるなら、参加したいと思う研修を選んでください。



(上の質問で「その他」を選んだ方) どんな研修を受けてみたいですか？

メール作成研修
改めてチームビルディングのための合宿をしたり、ビジュアルデザイン基礎講座やファシリテーション研修会があればいいと思う。特にコンシェルジュ合宿ができればと思う。
☐ ファシリテーション講座
☐ 企画のつくり方

11 コンシェルジュの活動全体に対して、課題・問題点、その他気づいた点や感想などをお書きください。

特にありません。

今年度もチームや学年の垣根を越えて仲良く楽しく活動ができたのではないかと思います。企画に関しては常にブラッシュアップを目指してみんなで納得のいくものにしていけたらと思う。

後期はなかなか参加できず、来年度もどうなるかわかりませんがこれからも意欲的に参加していきたいと思います。
--

ミーティングに参加できない人が活動に関わりにくいと感じた。

図書館コンシェルジュ 2020 (令和2) 年度必要経費 (案)

2019 (平成31) 年度は、次のとおり2コマ目～4コマ目の時間帯に対して、必要な経費をお願いしたい。

(1) 活動時間帯

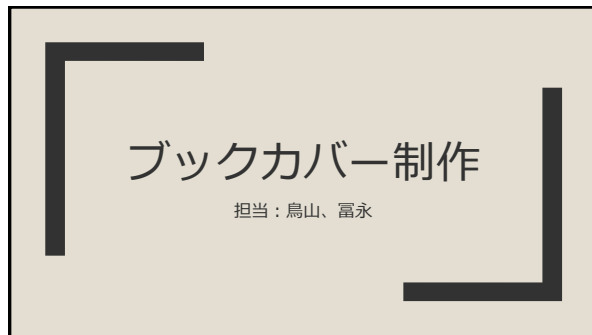
	活動時間帯		
1・2 限	8:30～10:10	-	月曜～金曜
3・4 限	10:25～12:05	100 分	
昼休み	12:05～13:00	55 分	
5・6 限	13:00～14:40	100 分	
7・8 限	14:55～16:35	100 分	
9・10 限	16:50～18:30	-	

※各コマに1名配置する。 ※355分 (6時間) /1日

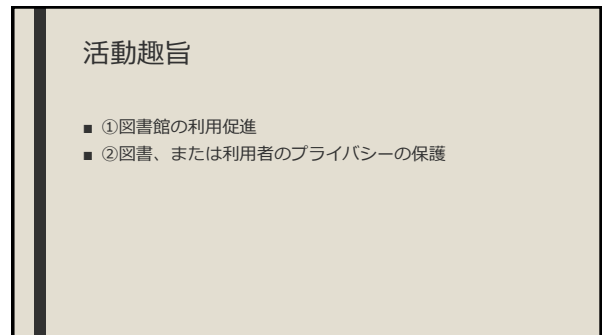
(2) 必要経費
(要求内訳)

区 分	時間	単価	金額	備考
謝金	(h)	(円)	(円)	
6時間/日 ×5日/週 ×28週	840	900	756,000	
合 計			756,000	

自主企画活動報告



1



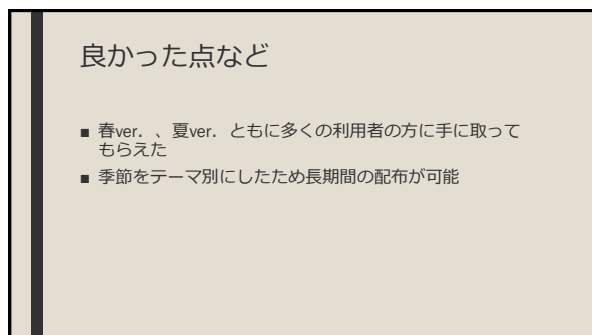
2



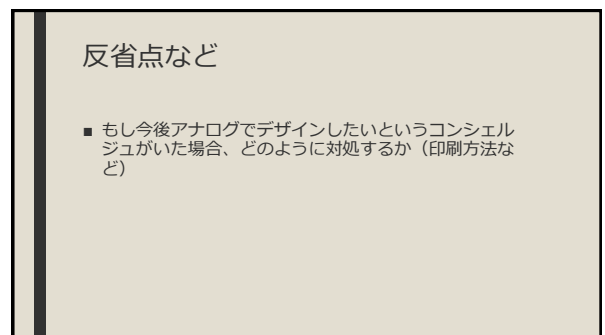
3



4



5



6

ブックカバー 後期活動報告

担当：鳥山、富永

1

活動趣旨

- ①図書館の利用促進
- ②図書、または利用者のプライバシーの保護

2

活動内容

・ブックカバーを作成し、
1階自動貸出し機横で
配布する

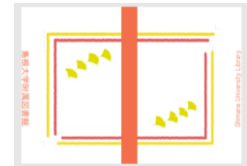


・今期は秋と冬の2回

3

秋バージョン

・配布時期：
2019/10/30～
2019/12/11



・A4、B5サイズ

4

冬バージョン

・配布時期：
2019/12/11～
現在



・A4、B5サイズ

5

今後の活動について

- ・これまで通り担当者2人で行う予定
- ・通年分の企画書を作成
- ・館内装飾の入れ替えと時期を合わせる

6

館内装飾

担当者：平山・武岡

1

・目的

季節感のある飾りつけをすることで気軽に足を運びやすい図書館を目指す

・期間

春：4/17~5/22
七夕：5/29~7/10

・場所

入口周辺
カウンター

2

春 4/17~5/22

去年と同様に桜モチーフ

去年は花びらを一枚ずつ貼るのが大変だった
→まとめてラミネートして貼るようにした

○展示当日の作業時間がかなり短縮できた
×館内から見ると気にならないが、
外側からだらラミネートの反射が気になる

カウンターは春休み中の小中学生への施設開放で作ってもらったもの



3

七夕 5/29~7/10

去年ラミネートした飾りを利用
春の装飾を片付けた後の空白期間を短くするために
少し早めに始めた
短冊は期間中に約300枚配布

・短冊が頻繁に無くなってしまった
・笹に対して短冊が多くすぐに吊るす場所が
なくなってしまった

5,6月の空白期間をなくすなら他の工夫が必要
ex. 春のテーマを6月ごろまで飾れる物にする
笹は七夕が近づいてから設置する



4

今後の予定

夏

7/30~10/2

ハロウィン

10/9~11/6?

5

2019年度後期活動報告会

館内装飾

担当者：武岡・平山

1

・目的

季節感のある飾りつけをすることで
気軽に足を運びやすい図書館を目指す

・期間

夏 : 7/30 ~ 10/2
ハロウィン : 10/9 ~ 11/6
冬 : 11/13 ~ 1/15

・場所

入口周辺
カウンター

2

夏 7/30 ~ 10/2

自動ドア

- ・朝顔と花火の飾りを新しく作成
- ・以前マスキングテープで雪の結晶を作った時に端がはがれたが今回ははがれなかった
→端をはさみではなく手でちぎる
マスキングテープ同士を重ねない

カウンター

- ・ひまわりと昨年飾った魚で飾った



3

ハロウィン 10/9 ~ 11/6

昨年までの飾りに少し追加して飾った
実際に貼ってみると黒の飾りは小さいとあまり
目立たず寂しい感じになってしまったので文字
の飾りを追加で貼った



4

冬 11/13 ~ 1/15

ゲート横にクリスマスツリーを飾った

自動ドア

- ・冬で思いつくものをかいてもらい、それを元に作成した
- ・両面に柄をつけるようにした
- ・外が明るい裏の柄が見えるので
表裏の柄は揃えたほうがよさそう
- ・こたつの形の無理矢理感



5

来年度の予定

春 : 4/8 ~ 6/3

七夕 : 6/10 ~ 7/8

夏 : 前期活動報告会 ~ 10/7

ハロウィン : 10/7 ~ 11/4

冬 : 11/11 ~ 未定

6

ブック★コンパス

企画者
小野 誠志朗

1

企画について

内容

コンシェルジュがテーマに沿った本を展示・紹介する。本にはポップをつけ、興味を持ってもらいやすくする。

場所

1階カウンター前本棚

目的

来館者に、普段読む本とは違う本に興味を持ってもらう。本の貸し出しを促進する。

対象

来館者

2

展示の様子



3

2019年前期のテーマ

- ・長編小説・旅行とレジャー
- ・コンシェルジュが選ぶ本

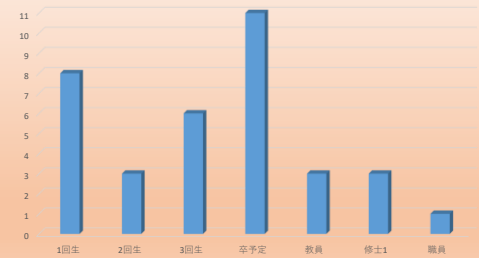
4

長編小説・旅行とレジャー

- ・展示冊数：37冊
- ・期間：1月23日(水) ～ 5月8日(水)

5

長編小説・旅行とレジャー



6

コンシェルジュが選ぶ本

- 展示冊数: 58 冊
- 期間: 5 月 8 日(水) ~ 7 月 10 日(水)

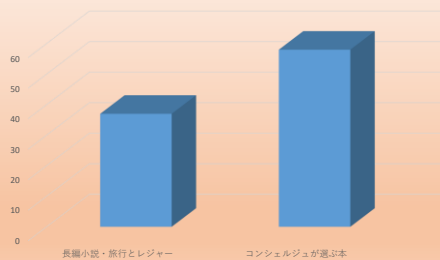
7

コンシェルジュが選ぶ本



8

貸出回数(後期)



9

これからの課題・目標

- 今学期は1度しか本の入れ替えを行えなかったの
で2か月の期間を改めて決めておく。
後期は10月～11月、12月～1月、2月～3月
- 学生の興味・関心の深いテーマにする
- テーマのマンネリ化を避ける。
- 装飾・ポスターにも手を加える。
- 定期的な入れ替えを行い、展示のない期間を作ら
ないようにする。

10

ブック★コンパス

企画担当者
松木 涼太

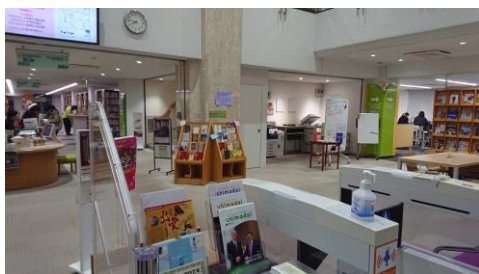
1

企画概要

- 内容: コンシェルジュがテーマに沿った本を展示・紹介する。本にはポップをつけ、興味を持ってもらいやすくする。
- 場所: 1階カウンター前本棚
- 目的: 来館者に普段読む本とは違う本に興味を持ってもらう。本の貸し出しを促進する。
- 対象: 来館者

2

展示の様子①



3

展示の様子②



4

展示の様子③



5

2019年度後期のテーマ

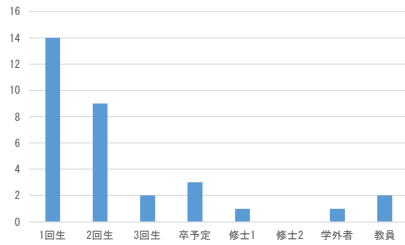
- 「ミステリー」と「SDGs」
→ ラーコモカフェとのコラボ企画
- 期間: 10月30日(水) ~ 2月3日(月)
- 展示冊数: 「ミステリー」 13冊
「SDGs」 7冊

6

「ミステリー」

ランキング

1位：告白(7回)
 2位：すべてがFになる(6回)
 3位：オリエント急行殺人事件(5回)

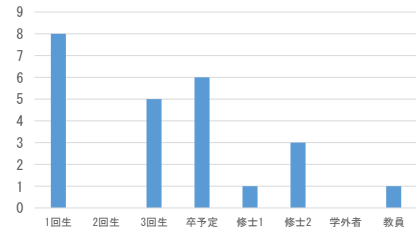


7

「SDGs」

ランキング

1位：持続可能な社会を作る環境教育(8回)
 2位：知っていますか？SDGs(5回)
 3位：SDGsと環境教育
 SDGsとEGS時代の生物多様性・自然資本経営(4回)



8

これからの課題・目標

★全般的なこと

- 他の企画との内容の重複を避ける

★準備について

- 準備に時間がかかるため、短縮できるところは短縮して作業効率を上げる
- 他の企画と話し合い、準備期間が被らないようにする
- ポスターのデザインについて検討を重ねる(手書き？ 印刷？)

9

読書の木

展示・グッズチーム
3年 立石彩夏

1

目次

1. 企画の目的
2. 企画の内容
3. 企画の成果
4. 反省点
5. 次回に向けて



2

1. 企画の目的

利用者の交流・参加型の企画を目指す

利用者の読書推進を図る

3

2. 企画の内容

期間 2019年4月17日～5月15日(春ver.)
2019年5月29日～10月16日(夏ver.)

場所 図書館2階展示ウォール

対象 利用者全般

内容 利用者に好きな本のタイトルとコメントを葉に書いて貼ってもらい、1つの木を作っていくもの

4

2. 企画の内容

春ver.

*テーマは「春」

*ジャンルは問わず

*桜の花びらに好きな本のタイトルとコメントを書いてもらう



5

2. 企画の内容

夏ver.

*テーマは設定なし

*ジャンルは問わず

*葉っぱに好きな本のタイトルとコメントを書いてもらう



6

3. 企画の成果

自分の好きな本について発信する
他の利用者の好きな本を借りる

気軽に



利用者が好きな本を紹介し合う場に

7

4. 反省点

本の展示をなしに



「本も展示した方が読みたくなるのでは？」
との意見が

解決策

所蔵がある本については本の配架場所を
示すような工夫をする

8

5. 次回に向けて

秋ver.: 葉の色を赤・茶・橙・黄色に

冬ver.: 葉ではなく、白い丸で雪を表現



New!

毎週水曜日に所在があるものについては所在が
わかるようにpopを作って示す

9

読書の木

展示・グッズチーム
3年 立石彩夏

1

目次

1. 企画の目的
2. 企画の内容
3. 企画の成果
4. 反省点
5. 次回に向けて



2

1. 企画の目的

利用者の交流・参加型の企画を目指す

利用者の読書推進を図る

3

2. 企画の内容

期間 2019年10月16日～12月4日(秋ver.)
2019年12月4日～2月3日(冬ver.)

場所 図書館2階展示ウォール

対象 利用者全般

内容 利用者に好きな本のタイトルとコメントを葉に書いて貼ってもらい、1つの木を作っていくもの

4

2. 企画の内容

秋ver.



*テーマは設定なし

*ジャンルは問わず

*葉っぱに好きな本のタイトルとコメントを書いて貼ってもらう



5

2. 企画の内容

冬ver.



*テーマは設定なし

*ジャンルは問わず

*葉っぱに好きな本のタイトルとコメントを書いてもらう



6

3. 企画の成果

自分の好きな本について発信する
他の利用者の好きな本を借りる

気軽に

利用者が好きな本を紹介し合う場に

7

4. 反省点

毎週水曜日に所在があるものについては所在が
わかるようにpopを作って示す

本の展示・所在確認が厳しい状況

8

5. 次回に向けて

来年度の展示・グッズチーム

メイン

館内装飾 ブック★コンパス ブックカバー

サブ

読書の木

1年間展示を続ける

月末に何枚書き込みがあったか確認

9

広報誌LiMe

担当：広報チーム

1

目的

利用者の方に、

- ・コンシェルジュの活動を知ってもらう
- ・本や図書館、コンシェルジュに関心を持ってもらう

きっかけのひとつになること

2

前期の広報誌LiMe

- ・前期に発行したLiMe

2019年春号 …チラシみたいな感じで発行

2019年夏・秋号…期間を長くして発行

3

前期の広報誌LiMe

- ・新しくしたこと

ラーニングコモンズ1に新たに設置

4月に作ったLiMeのテンプレートを使って作成

- ・成果（春号）

発行部数40部

26部あまり



4

良かった点

- ・テンプレートがあったおかげで編集に集中できた。
- ・ひとりあたりの編集量が多くなりすぎなかった。
- ・情報の共有化がしっかりできた。

5

反省点

- ・LiMeの発行に延長があった

6

今後は...

- ・ LiMeの置く場所を増やす
- ・ ゆとりをもって編集できるようにする

7

ご清聴
ありがとうございました。

8

広報誌LiMe

担当：広報チーム

1

目的

利用者の方に、
 ・コンシュルジュの活動を知ってもらう
 ・本や図書館、コンシェルジュに関心を持ってもらう

きっかけのひとつになること

2

表紙・裏表紙の テンプレート作成

〈夏号〉

〈冬号〉

〈サンプル〉



3

成果（冬号）

発刊部数 30部
 内訳：図書館20部、生協ショップ10部
 配布部数 16部
 内訳：図書館12部、生協ショップ4部

4

今後の広報誌について

- 広報チーム解体に伴って、今後は発行しない
- 広報活動は各チームがポスターなどで行う

5

ご清聴
 ありがとうございました。

6

前期活動報告 LiMeボード

発表日：7月29日
発表者：山本帆乃佳

1

LiMeボードについて

目的 →利用者の方々に図書館で行われるイベント
や図書に関する情報の提供を行う。

2

内容

- ・利用者さんが新情報に気づけるように一階の入り口附近に設置
- ・職員さんや広報全体で情報共有を行い情報提示を迅速に

〈表面〉



3

〈裏面〉



内容

- ・表面と裏面を入れ替えることでどちらの面の情報も提示できるように
- ・チラシやポスターなども有効に使用

4

LiMeボードの反省点

- ・イベント終了後も、そのイベントに関する記述を消さずに残したままのことが何度かあった。
- ・裏面の情報は見てもらえているか。



5

終わりに…

LiMeボードは「利用者」向けの情報提供を行う媒体！
→利用者のニーズに答えられるような情報提供をしていくことが課題。

→LiMe各種が多くの人目に触れられるような工夫が必要
※利用者の多い場所や目につきやすい場所を思案中

6

ご清聴ありがとうございました！



LiMeボード

担当：広報チーム

1

LiMeボードの目的

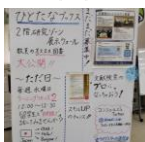
利用者の方々に図書館で行われるイベントや図書に関する情報の提供を行う。

2

LiMeボード

一階の入り口付近に設置

《表面》



《裏面》



3

今後のLiMeボードについて

・広報活動については、イベント等を企画した担当者が直接書き込んだ方が効果的であった。

・LiMeボードの管理は各企画担当者が直接書き込み・消去する。



4

ご清聴ありがとうございました



5